

ゆめぐみ ～大きさ～

発達領域：空間の理解



〈大きさ比べ〉

毎日読んでいて馴染みのある、「だるまさんが」から”て”のイラストを使って自分の手と大きさ比べをしてみました。マジックテープでくっつけているので剥がしてじっくりとみている子もいれば、壁に手をつけて触れている子もいました。その隣にはみんなと同じくらいの大きさの手を用意し、一緒に手をあてて比べてみました。その時に「〇〇くんの手より大きいね～」や「同じくらいの大きさかな～？」と保育者が言葉で代弁しながら大きい、小さいということに触れることができました。

また、保育者がハイタッチをしたときや手を繋いだ時などふとした瞬間にも大きさの違いを感じることができていると思いました。



〈ぽとんと落とし〉

ゆめ組さんが得意なぽとんと落とし！まずはミルク缶のふたを外して広くて大きい入れ口に手のひらでチェーンをたくさん入れるところから始めました。この動作が出来るようになると徐々にチェーンの掴み方も変わり、手のひらで掴む仕草から指先でつまむ仕草へと変化していきました。そこで通し口を段々と狭くしていきチェーン2つ分が通る大きさに変えてみました。通し口が小さくなったことにより始めは苦戦していた様子が見られましたが、保育者がチェーンの長さを調節したり、コツをつかみ始めると指先が器用な子どもたちはあっという間に入れることができ何度も繰り返していました。この時入ったチェーンを穴から覗き込む姿も見られ、小さな穴からどれくらい入っているのかを確認しているようでした。

最後に、チェーン1つ分が入る通し口の容器を用意し、“入るかな？”とぽとんと落としを促すと、これもまた始めは苦戦していましたが、これまでとは違った集中力で、入れることに挑戦していました。そして入れることができると達成感や喜びから拍手をする子どもたちです！



〈大きな栗の木の下で〉

手遊び歌「大きな栗の木の下で」や「手をたたきましよう」からも”大きさ”について触れました。”大きな栗”の部分では保育者の真似をして手を上に大きく伸ばしたり、”あなたとわたし”の部分で自分の鼻に指をあててトントンとする動作があったりと上手に踊っている姿が見られました。手遊び歌では保育者と向き合いながら踊ったり、手をとって一緒に踊ったりとみんなで楽しみながら触れることができました。



なかよくあそびま
しょう〜♪



あなたとわたし〜



〈いろいろな大きさ〉

ぽっとん落としにはボールもあります。ボールは大きさが違うものがあり、そのボールに合った大きさの穴には入りますが、小さい穴には入らずハマってしまう様子が見られました。そこでこのボールは入らないことに気づき、どのぽっとん落としにあてはまるのかを考えることができました。

カップをの積み重ねとフェルトボックスの積み重ねをした時は高さの違いについて触れました。フェルトボックスの積み重ねをすると子どもたちと同じくらいの高さになるので、「〇〇ちゃんと同じくらい高いね〜」や「大きいね〜」と声掛けをしながら重ねることや崩して倒すことを楽しんでいました。また、大きいカップには小さいカップが入ることに気づき、4つあるカップがどのように入のかたくさん出し入れして考えている姿もみられました。

遊びの中で、こんなにも大きさから高さまで触れていることがたくさんあるということや気づきや発見に繋がったと感じました。



園庭やお庭でもたくさんの”大きさ”を発見しました！

砂場で小さいスコップから大きいスコップまで様々な大きさのスコップを使って砂を掘ったり、すくったりして遊びを楽しんでいました。また、大きなススキを手を持ちたり、ちっちゃな葉っぱを摘んだりとここでも大きさに触れることができました。大きなススキを見つけたときは「あ！」や「お〜」と反応する姿も見られ、大きいものは目につきやすく、迫力があるのかなと思いました。

他にも、サンゴやお山など高い場所にもものぼり、その空間を楽しみました。

